

令和4年第1回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

新型コロナウイルス感染症は、幼稚園、小・中学校でも発生している状況ですが、感染防止対策を十分に行った上、教育活動を実施しています。

卒業式につきましては、3密を避け、短時間で実施することとし、式への参加者は、原則として卒業生、保護者、教職員としています。

何度もやってくる感染拡大の波によって、子どもたちは不安やストレスを抱えるなど、精神面に強い影響を受けており、感染防止対策とともに心のケアが大きな課題となっています。

もともと学校・園が持つ機能として、強く意識されたものが3つあります。1つ目は発見機能です。毎日接しているからこそ気付く小さな変化を敏感にキャッチする教職員の働きです。2つ目は居場所機能です。臨時休業により、子どもたちの居場所としての学校・園の存在が強く認識されました。それは保護者にとっても同様で、学校・園は、安心して学習や生活ができる子どもたちの居場所としての機能を維持することが必要です。3つ目は窓口機能です。不安やストレス、悩みを聞き、それをカウンセラーや専門機関へつなぐ窓口としての機能です。この3つの機能を総合的に作用させ、子どもや保護者のケアを丁寧に行いながら、自他を尊重する意識とともに、今だからこそ求められる資質・能力の育成に取り組んでいきます。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ 学校施設整備について

学校トイレ環境整備、体育館照明のLED化など、計画的に実施します。

また、国府小学校校舎大規模改造工事は、令和5年度の完成に向けて、第1期工事を進めています。

○ 学校ICT環境について

小・中学校では、児童生徒に配付した1人1台の端末を活用して、発達段階に応じた資質・能力を身に付けるための授業を進めています。今後は、情報活用能力の育成に加え、情報モラルを身に付けさせるための指導を行っていくこととしています。

また、昨年9月からICT支援員を配置し、ICT機器を活用した授業の支援や教職員向けの研修等を行っており、GIGAスクール構想の達成に向けた体制を構築しています。

○ 自立支援室の開設について

長期欠席や不登校の生徒が安心して過ごせる居場所として、邑久小学校と邑久中学校に自立支援室を設置していますが、新たに牛窓中学校と長船中学校にも設置します。これにより、相談員、支援員が見守る中、生徒が自らの可能性やそれを実現する方法を見つけ、卒業後の自立を支える力を育てたいと考えています。

○ 邑久スポーツ公園整備とスポーツ推進について

邑久スポーツ公園では、冒険の森の遊具設置等の第2期土木工事や、老朽化している邑久B&G海洋センター体育館の外壁等の改修などの施設整備を行います。また、冒険の森の構造物撤去、敷地造成及び給水・電気設備設置等の第1期土木工事完成後、冒険の森トイレ、野球場トイレの工事に着手します。

スポーツ推進につきましては、新たに地域おこし協力隊員を採用し、指導者の育成、各種大会・イベントなどスポーツ活動の支援を行います。

○ 公民館事業について

新型コロナウイルス感染症の予防を徹底しながら、各公民館にある地域資源に着目し、子どもから大人まで地域の魅力を感じることができる場所となるよう企画を工夫していきます。

また、令和4年度は、公民館を利用する市民の利便性の向上を図るため、Wi-Fi環境を中央公民館と牛窓町公民館に整備します。

○ 図書館について

新型コロナウイルス感染症の影響により、来館者数は前年度を下回る状況ですが、図書の貸出冊数は、前年度より1割程度増加しています。

図書館友の会との協働事業では、詩とデザインをテーマに市民から作品を公募したところ、詩は441点、デザイン画は106点もの作品が寄せられ、詩集とデザイン画集が刊行されました。

令和4年度は、老朽化している図書の管理運営システム機器とソフトウェアを更新することにより、裳掛地区での予約資料の受け取りや返却を可能にするなど、図書館サービスの更なる充実を図ります。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和4年2月22日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行